



令和2年8月20日  
No.89

# 社協だより



医療用簡易ガウンの  
製作活動に  
協力しました



大田市ボランティアセンターでは、島根県県央保健所独自の取り組みのビニール袋を用いた医療用簡易ガウンの製作活動に協力しました。この活動は新型コロナウイルスの第2波が心配される中、感染対策用の医療用物資が全国的に不足していることから、大田市内の医院・診療所における医療機能の維持を目的に島根県県央保健所が計画されたものです。この趣旨にご賛同頂いた当センター登録のボランティアさん、大田高校、邇摩高校の生徒さんなど延べ85名にご協力頂き、1500枚を製作しました。

活動最終日の7月30日には、島根県県央保健所において贈呈式が行われ、ご協力頂いたボランティアさんより大田市医師会・福田一雄会長へガウンが贈呈されました。

この医療用簡易ガウンは、島根県県央保健所より市内の各医院・診療所へ配布され、新型コロナウイルス対応に使用されます。

新型コロナウイルスの影響が続く中ですが、このように少しずつでも出来る活動を取り組んでいきたいと感じています。

令和  
元年度

# 社会福祉法人 大田市社会福祉協議会

## 事業報告

### 1. 事業概要

今日、地域社会においては少子高齢化の進行と併せ、就業構造の変化や人間関係の希薄化などを背景として、人々が直面している地域生活課題は複雑・多様化し、日常生活における不安は増大しており、国においては、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう困難を抱える人を含め、一人ひとりの多様な社会参加により地域を共に創っていく地域共生社会の実現を目指した取り組みが進められています。

社会福祉協議会においては、これまで取組んできた福祉のまちづくりにおける地域福祉活動の推進に加え、生活困窮者の自立支援あるいは権利擁護事業で培ってきた力を一層発揮し、地域共生社会の実現へ向けた中心的な役割を果たしていくことへの期待に併せ、社会福祉法の改正により、社会福祉協議会には社会福祉法人としてのガバナンスの強化や事業運営の透明性の確保、財務規律の強化と地域における公益的な取組みの推進などが求められています。このような中、本会では民生委員児童委員や自治会をはじめ、地区社協及び地域団体、社会福祉法人、行政など関係機関との連携を強化しながら、第2次地域福祉活動計画の指針に基づいた取組みを進めて参りました。生活課題の解決へ向けた多機関協働による体制づくりに取り組むため、大田市より受託した地域福祉支えあい推進事業では分野を超えたつな

がりづくりに取り組んだほか、個別支援と地域をむすび、支援を円滑に推進するための仕組みの構築を目指すコミュニケーションソーシャルワーカーを配置し、様々な地域団体と連携しながら地域福祉活動の支援強化と増進を図りました。

支援を必要とする世帯の自立の助長と、福祉サービス利用援助事業や成年後見事業などの権利擁護の推進においては、民生委員児童委員をはじめ多くのみなさまのご協力をいただき実施いたしました。

地域住民が主体の支えあいの体制づくりを推進する生活支援体制整備事業では、新たに3地区で組織体制が整備され、現在20地区において高齢者の通いの場づくりを中心とした事業活動が進められているほか、地区社協をはじめとしたサロンなどの地域活動において、誰もが役割を持つ社会参加の必要性について理解を深めるための研修会の開催や啓発活動に取り組みました。

そのほか、大きな被害が生じた島根県西部地震による被災者からの相談に対し、ボランティアセンターとして支援活動を継続して行うことと併せ、解決が難しいケースについて多機関と連携し協議検討を進めました。

以上、令和元年度事業計画のもと、地区社会福祉協議会をはじめ民生児童委員協議会、各関係機関・団体のご協力をいただきながら各種事業を実施いたしました。

### 2. 実施事業

#### 推進目標1

住民参加による地域福祉活動の推進

(1) 地区社協を中心とした住民主体の地域づくりの推進

◇地区社会福祉協議会連絡会議の開催

◇地区社協活動支援事業

◇福祉委員活動の推進

◇CSW設置事業・地域福祉力アップ推進事業（大田市地域福祉支えあい推進事業）

① コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置

② ふくしよろろ相談窓口の設置（受付件数255件）

③ コミュニティソーシャルワーカー（CSW）活動の推進に向けた体制の整備（開催実績：11回）

④ 地域福祉力アップ推進事業（14地区社協）

#### (2) 住民自主組織の活動支援

◇ふれあい・いきいきサロンづくり活動推進事業

・指定サロン／1サロン

・令和元年度未現在のサロン総数／116サロン

◇大田市介護予防活動市民大会サロン大交流会

◇地域介護予防活動支援事業（介護予防活動実施団体）

152団体

① ふれあいいきいきサロン・介護予防活動実施団体交流会

（参加者 138名）

② 元気づくりプログラム研修事業

（参加者延べ151名）

地域のサロン団体等のスタッフを対象として市内4ヶ所で研修会を開催した。

◇生活支援体制整備事業

地域での高齢者の生活支援に関する協議・支援を行う協議体の設置・運営、事業の実施について、地域組織を中心として、大田市及び関係機関と連携して支援を行い、新たに3地区で協議体が設置され、市内の協議体設置地区は20地区となった。

① 市内各地区協議体への支援と連携（22地区延べ訪問回数369回）

② 生活支援コーデイネーター情報交換会等の開催（毎月1回）

③ スタッブ研修会の開催（3回）

④ 移動・外出支援に関する地域活動助成事業

地域における移動・外出支援に関する地域ニーズの把握及び課題解決へ向けて取組む地区社協に対し助成を行った。

◇子育て支援団体連絡会への支援

「子育てサロン交流会」の開催と併せ、「子育て支援団体連絡会」を開催した。

◇レクリエーション用具等貸出し事業

① 福祉体験学習用品（疑似体験等）貸出し／16件（市内学校、施設等）

② 軽スポーツ・レクリエーション用具貸出し／373件

③ 機材等の貸出し／73件

#### (3) 住民相互の助け合い意識の啓発とつながりづくり

◇高齢者の見守り活動に関する協

定に基づく連携（対応件数2件）

◇地域福祉研修会の開催（参加者302名）



(4) 地域福祉活動への住民及び施設・団体等の参加促進

◇ 障がい者社会参加促進事業

- ① 障がい者スポーツ大会の実施 (1回)
- ② 視覚障がい者の集い (1回)
- ③ バスハイキング事業 (1回)
- ④ 障がい者との体験ツアー (1回)
- ⑤ 身体障がい者パソコン教室 (1回)
- ⑥ 障がい者週間啓発事業 (1回)

◇ 健康・生きがいづくりフェスティバルの開催支援

グラウンドゴルフ、ゲートボール、ダイヤゾーン・ボール、サイクリング、ターゲットバードゴルフ、将棋

◇ 社会福祉法人地域公益活動の推進 (1回)

◇ 老人福祉センター管理運営事業

- ① 大田老人福祉センター
  - ・ 利用者総数 682 団体
- ② 仁摩老人福祉センター (びしゃもん)
  - ・ 市内入湯者数 5、210 人
  - ・ 市外入湯者数 4 人
  - ・ 施設利用数 85 件
  - ・ 設備利用数 230 件

◇ 団体等事務局の受託

- ・ 大田市民生児童委員協議会
- ・ 日本赤十字社島根県支部大田市区

(5) 共同募金運動への協力

募金運動に協力し、集まった募金を各地区社協、福祉事業実施団体、当事者組織等へ事業助成を行った。

推進目標2

在宅生活の自立を支える活動の推進

(1) 関係機関との連携による相談体制の充実

- ◇ 司法書士相談 (22 件)
- ◇ 石見法律相談センター相談会 (面談相談 78 件)
- ◇ パソコン法律相談 4 件
- ◇ 関西大学法科大学院出張法律相談 (7 件)

(2) 包括的支援の充実

◇ 生活困窮者に対する支援 (生活サポートセンターおのだの取り組み)

- ① 新規相談支援事業 (自立相談支援事業)
- ② 新規相談内容延べ件数 51 名
- ③ 自立支援計画 (プラン) 作成件数 32 件
- ④ 支援状況
  - ・ 相談支援延べ件数 1、307 件
  - ・ 生活福祉資金の貸付
  - ・ 民生融金の貸付
  - ・ 家計改善支援
  - ・ ハローワークと連携し生活保護受給者等就労自立促進事業を利用
  - ・ 生活物品の貸出
  - ⑤ 研修及び会議
  - ・ 職員の資質向上のため外部研修に参加 (参加回数 10 回)
  - ・ 関係機関との連携に関わる会議に参加 (参加回数 41 回)

◇ 家計改善支援事業

- ・ 利用件数 13 件
- ・ 主な支援内容
  - ・ 家計管理、滞納の解消や各種制度等の利用、債務整理、貸付あつせん等に関わる支援

・ 相談従事者の資質向上のための「家計改善支援スキルアップ研修」の開催 (参加者 11 名)

〈就労準備支援事業〉

就労に向けた準備が整っていない生活困窮者に対して、一般就労に向けた準備としての基礎能力の形成が図れるよう支援を行った。

◇ 資金貸付事業

- ① 生活福祉資金貸付
  - ・ 対象 高齢者、障がい者、低所得者世帯
  - ・ 業務 資金相談 (借入相談、申請支援、生活相談、償還指導等)
  - ・ 相談件数 382 件
- ② 民生融金貸付 (生活資金・緊急現金)
  - ・ 対象 生活困窮状態
  - ・ 業務 資金相談 (借入相談、生活相談、償還指導等)

◇ 貸付実績 23 件

- ・ フードバンク事業 (寄付食料品 備蓄による困窮者への食料支援)
- ・ 主な寄付食料品 米、カップ麺、レトルト食品、缶詰等
- ・ 食料寄付件数 43 件 (団体 9 件、個人 34 件)

◇ 生活物品の貸出

- ・ 生活困窮者の自立へ向けて生活用品の貸出を行った。
- ・ 貸出し利用件数 3 件

◇ 総合的な相談支援体制づくり事業 (大田市地域福祉支援会合い推進事業)

- ① 事業推進プロジェクト会議の開催 (開催実績 12 回)

② 大田市地域福祉推進支援機関代表者会議への参画 (参加実績 1 回)

③ 大田市地域福祉推進支援機関実務者会議の開催 (開催実績 11 回)

④ 相談支援包括化推進員の配置

(3) 個別課題に基づく地域づくり

- ◇ こころのたより発送事業 (対象者) 1、944 名
- ◇ 重度身体障がい者移動支援事業 (利用登録者数) 142 名
- ※ 内新規利用登録者 1 名
- ◇ (実利用者数) 11 名
- ◇ (年間延利用者数) 131 名
- ◇ (年間稼働日数) 116 日
- ◇ (ボランティア登録者) 34 名
- ◇ (ボランティア活動延数) 238 名

◇ 学生服等再活用事業

- ◇ (対象物) 市内の小・中学校及び近隣高校の制服、体操服、柔道着 (寄付物件数) 13 名から 44 件
- ◇ (寄付物内訳) 学生服: 27 件、体操服: 14 件、柔道着: 1 件、その他: 2 件

(4) 当事者団体などへの支援

- ◇ 大田市身体障がい者福祉協会事務局受託
- ◇ 大田市障がい者関係団体連絡協議会事務局受託
- ◇ 大田市シニアクラブ連合会活動支援
- ◇ 家族相談員紹介事業
  - ・ 相談件数 118 件
- ◇ 福祉バス運行事業 (登録団体数) 58 団体 (利用団体数) 42 団体 (運行回数) 118 回

(5) 福祉事務所をはじめとする関係機関・団体との連携に向けた会議等への参画

(大田市)

- ◇大田市障がい者自立支援協議会
- ◇大田市保健対策推進協議会
- ◇大田市人権尊重のまちづくり審議会

- ◇大田市生涯現役・いぶし銀が支えるまちづくり推進協議会

- ◇大田市要保護児童対策地域協議会
- ◇大田地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会

- ◇大田市公共交通対策協議会
- ◇青少年の居場所 ゆきみーる運営等検討会

- ◇大田市地域福祉推進支援機関代表者会議

- ◇大田市子ども・子育て支援推進会議

(大田圏域)

- ◇障害者就業・生活支援センター事業連絡会議
- ◇大田圏域女性に対する暴力対策関係機関連絡会

- ◇大田圏域精神保健医療福祉連絡協議会
- ◇大田圏域自死総合対策連絡会

- ◇大田圏域健康長寿しまね推進会議
- ◇大田・邑智地域生活支援会議

**推進目標3**  
ボランティア活動の推進

(1) ボランティア人材の養成とスキルアップ

- ◇ボランティア交流事業
- ・第5回縁カフェおた(1回)
- ◇奉仕員養成事業

① 手話奉仕員養成講座後期日程：全24回

- ② 点訳奉仕員養成講座(全12回)
- ③ 広報音訳ボランティア養成講座(全5回)

- ◇地域福祉活動サポーター養成事業
- ① 聞こえのサポーター養成講座(3回)

- ② 移動介助ボランティア養成講座
- ◇ボランティア・市民活動センターの運営

- ・個人、団体及び施設行事へのボランティア依頼/14件(活動者延べ106名)
- ・食育活動ボランティア依頼/64件
- ◇ふくしとくらし体験事業

(2) ボランティア活動に関する相談・支援体制の強化

- ◇緩和ケア啓発事業への助成・支援(2回)
- ◇ボランティア保険に関する手続き事務

- ① ボランティア活動保険(事故対応1件)加入者数：1,323名
- ② 送迎保険(事故対応0件)加入件数：31件

- ③ ボランティア行事用保険(事故対応3件)加入件数：379件
- ④ 福祉サービス総合保障(事故対応0件)加入件数：24件

- ◇収集ボランティア活動の推進
- ・使用済み切手の収集/25件
- ・プルタブの収集/32件
- ・ペットボトルのキャップの収集/39件

- ◇企業・団体が行うボランティア活動との連携
- ・活動調整件数：6件

- ◇民間助成事業に関する情報提供等

(3) 災害時に備えた地域住民及び関係機関とのネットワーク体制の強化

- ◇災害ボランティア活動の推進
- ・島根県災害ボランティア隊への協力

- ◇防災・減災推進事業
- ・島根県西部地震からの復興を考えるシンポジウムの開催

- ◇しまね災害福祉広域支援ネットワークへの職員の登録及び派遣
- ・福祉専門職登録者数：4名(社会福祉士)

- ◇大田市ボランティアセンターにおいての被災者支援活動(活動状況)
- (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

- ・相談件数 62件
- ・活動件数 83件(活動日数：48日)
- ・延活動者 577名
- ◇災害訓練等への協力
- ・大田市総合防災訓練への協力

- ◇大田市ボランティアセンターにおいての被災者支援活動(活動状況)
- (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

- ・相談件数 62件
- ・活動件数 83件(活動日数：48日)
- ・延活動者 577名
- ◇災害訓練等への協力
- ・大田市総合防災訓練への協力

**推進目標4**  
福祉の心・人材の育成

(1) 住民主体の地域福祉活動推進に向けた意識啓発と担い手の育成

- (小学校)
- ・実施校数 7校(実施回数14回)
- ・対象人数 延べ215名
- ・主な内容

- ・障がいの理解及び体験学習、高齢者疑似体験学習
- (中学校)
- ・実施校数 1校(実施回数1回)
- ・対象人数 90名
- ・主な内容

- ・高齢者疑似体験学習
- (高校)
- ・実施校数 1校(実施回数1回)
- ・対象人数 81名

- ・実施校数 1校(実施回数1回)
- ・対象人数 81名

・主な内容

- ◇ボランティア活動について
- ・ライフステージに応じた福祉教育の推進

- ・あいサポート運動(障がいについての理解と配慮)の推進として、障がいのある方への必要な配慮などの理解、障がいのある方などについて意識啓発を図った。
- (受講者数) 20名

(2) 福祉に関する情報提供及び啓発の推進

- ◇福祉器具の貸出(31件)
- ◇点字・声の広報の発行
- ① 音訳広報の発行

- (発行内容)
- ・広報おた 年12回(月1回)
- ・市議会だより 年4回
- ・(4月、7月、10月、1月)
- ・社協だより 年6回
- ・(4月、6月、8月、10月、12月、2月)
- ・身障の友大田 年3回
- ・(6月、11月、3月)

- ・暮らしの情報、健康診断や不燃物収集等の年間予定表 年1回
- ② 点字広報の発行等
- (実施回数) 毎月1回(12回実施)
- (配布数) 1回あたり2部作成

- ◇福祉サービス利用援助事業
- (日常生活自立支援事業の推進)
- (県社協委託事業)
- ① 支援計画作成
- ② 利用状況及び相談件数
- ・利用件数 96件(前年度99件)
- ・新規利用件数 11件
- ・相談件数 3,360件

**推進目標5**  
権利擁護の推進

- (1) 権利擁護体制の充実
- ◇福祉サービス利用援助事業
- (日常生活自立支援事業の推進)
- (県社協委託事業)
- ① 支援計画作成
- ② 利用状況及び相談件数
- ・利用件数 96件(前年度99件)
- ・新規利用件数 11件
- ・相談件数 3,360件

- ◇福祉サービス利用援助事業
- (日常生活自立支援事業の推進)
- (県社協委託事業)
- ① 支援計画作成
- ② 利用状況及び相談件数
- ・利用件数 96件(前年度99件)
- ・新規利用件数 11件
- ・相談件数 3,360件

- ◇福祉サービス利用援助事業
- (日常生活自立支援事業の推進)
- (県社協委託事業)
- ① 支援計画作成
- ② 利用状況及び相談件数
- ・利用件数 96件(前年度99件)
- ・新規利用件数 11件
- ・相談件数 3,360件

- ◇福祉サービス利用援助事業
- (日常生活自立支援事業の推進)
- (県社協委託事業)
- ① 支援計画作成
- ② 利用状況及び相談件数
- ・利用件数 96件(前年度99件)
- ・新規利用件数 11件
- ・相談件数 3,360件

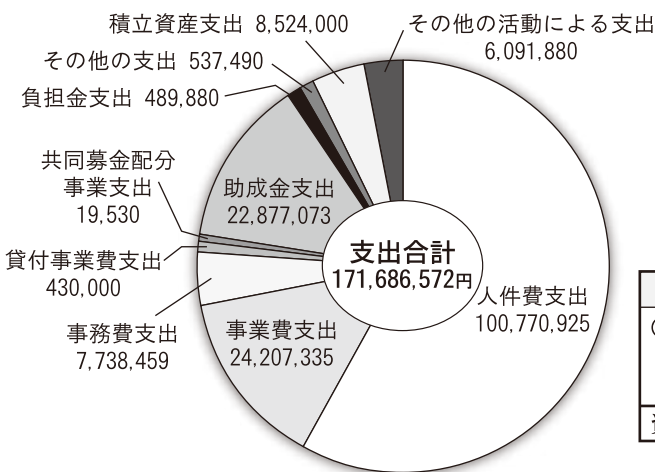
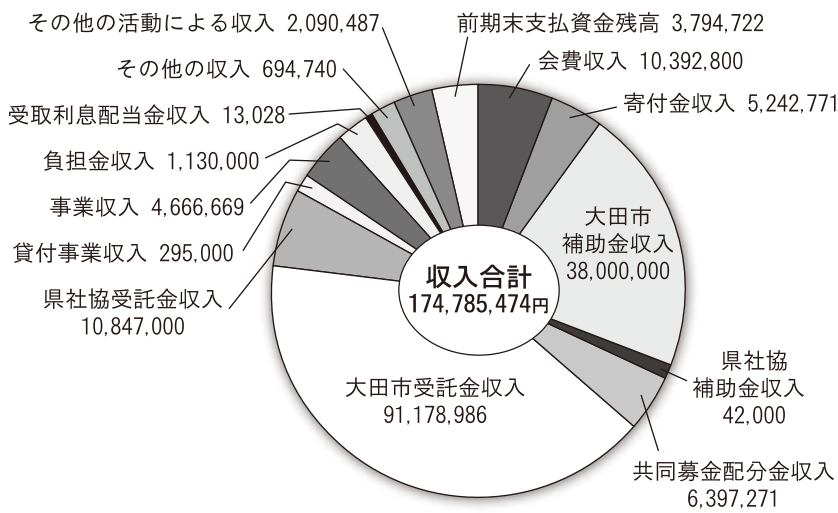
- ◇福祉サービス利用援助事業
- (日常生活自立支援事業の推進)
- (県社協委託事業)
- ① 支援計画作成
- ② 利用状況及び相談件数
- ・利用件数 96件(前年度99件)
- ・新規利用件数 11件
- ・相談件数 3,360件



- 推進目標6 組織体制の強化**
- (1) 広報活動の充実
- ◇社協だよりの発行（偶数月・年6回）
  - ◇ホームページによる情報提供
  - ◇点字・声の広報の発行（再掲）
  - ◇ケーブルテレビなどの広報媒体の活用
- (2) 市民後見人人材バンク
- (3) 生活支援員研修会（2回）
- ◇法人後見事業（法人による成年後見への取り組み）
  - ・ 法人後見運営委員会の開催 1回
  - ・ 出雲成年後見センターへの参加
  - ・ 被後見人等に対する成年後見制度に基づく支援（財産管理・身上監護） 3件
- (4) 大田市成年後見支援センター事業
- ① 大田市成年後見支援センター運営委員会の開催（2回）
  - ② 成年後見制度周知フォーラムの開催（1回）
  - ③ 市民後見人養成講座の開催
  - ④ 市民後見人の推薦（3名※累計市民後見人21名）
  - ⑤ 成年後見に関する相談及び支援相談件数 13件
  - ⑥ 出雲成年後見センターとの連携及び定例会への参加
  - ・ 事例検討会参加 12回
  - ・ 成年後見意識啓発セミナーへの参加 1回
  - ⑦ 成年後見制度啓発活動の推進
  - ・ 私のおんしんノート出前講座の開催 3回
  - ⑧ 関係機関との連携
  - (1) 家庭裁判所関係

## 資金収支決算

期間：平成31年4月1日から  
令和2年3月31日まで  
(単位：円)



当期末支払資金残高 3,098,902円

- (2) 事業推進体制の強化
- ◇理事会の開催（4回）
  - ◇評議員会の開催（2回）
  - ◇監査会の開催（1回）
  - ◇評議員選任・解任委員会（2回）
  - ◇苦情解決のための第三者委員への苦情、相談
- (3) 財源の確保
- ◇職員専門性向上と資格取得促進
  - ◇会員制度の周知と会員拡大
- (4) その他
- ◇新型コロナウイルス感染症に関する対応
  - ① 生活福祉資金の特例貸付（緊急小口資金貸付）
  - ・ 相談件数 3件
  - ・ 貸付決定件数 2件
  - ・ 貸付金額 300,000円
  - ② 令和2年3月に実施を予定していた事業等
  - ③ 各地区社協への情報提供

## 貸借対照表

令和2年3月31日  
(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
○資産の部		○負債の部	
◇流動資産	9,448,095	◇流動負債	6,349,193
◇固定資産	171,583,991	◇固定負債	63,318,233
資産の部合計	181,032,086	負債の部合計	69,667,426
		○純資産の部	
		◇基本金	3,000,000
		◇その他の積立金	104,484,115
		◇次期繰越活動増減差額	3,880,545
		純資産の部合計	111,364,660
		負債及び純資産の部合計	181,032,086



# シニアクラブ 情報局

催し

お知らせ

募集



## シニアクラブ連合会 開催(予定)行事のご案内

### 令和2年度 ゲートボール大会

日時：9月3日(木) 9:00～  
場所：大田二中ゲートボール場

お申込みは  
締め切りました



尚、新型コロナウイルス感染予防対策により、下記の行事は中止と致しましたので、ご報告申し上げます。

#### 5月

●第6回ダイヤゾーン・ボール大会 **中止**

#### 6月

●第14回ペタンク大会 **中止**  
●温泉津ブロック健康スポーツ大会 **中止**

#### 7月

●仁摩ブロック健康スポーツ大会 **中止**

#### 9月

●活動推進研修会 **中止**

#### 10月

●シニアクラブ連合会 親睦旅行 **中止**  
●温泉津ブロック福祉大会 **中止**  
●大田ブロック健康スポーツ大会 **中止**  
●囲碁・将棋大会 **中止**

ずっとつながる

## 大田市シニアクラブ連合会

〒694-0064 大田市大田町大田1128番地  
TEL 0854-84-0266  
FAX 0854-82-9960  
月曜日・木曜日 8:30～17:00(祝日休)

ホットつながる

## 第15回 グラウンドゴルフ大会開催



第15回大田市シニアクラブ連合会主催のグラウンドゴルフ大会を、7月9日(木)大田市総合運動場で開催いたしました。雨の日が続く中、天候に恵まれ15チーム67名で熱戦を展開しました。結果は次の通りです。〔敬称略〕

#### 【団体戦】

- 1位 大田ことぶきA
- 2位 朝山GG同好会
- 3位 久利 寿会B

#### 【個人戦】

- 1位 見戸新三郎(久利B)
- 2位 福田 幸司(久利A)
- 3位 神門 昇(大田C)
- 4位 高木 泰隆(水上)
- 5位 佐々木 均(大田A)

ホールインワン賞  
12本

開会式の様子



うまく  
行ったかしら?



よし!  
決めた!!



緊張する～



さあ  
行くぞ～



気合いを  
入れていくよ!



そのまま  
行け～



もう少しだ!頑張れ!!



表彰式



次こそは  
頑張るぞ!!



団体優勝 大田ことぶき会





# ご寄付ありがとうございました

大田市の地域福祉のために有効に活用させていただきます

(令和2年6月～令和2年7月受付分順不同・敬称略)  
 ※社会福祉法人への寄付は、個人は所得税法または租税特別措置法寄附金控除、法人は法人税法上の損金算入が出来ます

## ○香典返し寄付

大田 大森 近藤 和男  
 松原 忠治 岩崎 清  
 木下 敏也 飯島 信夫  
 千日 一敏 諒太  
 川谷 敏也 幸村 孝教  
 志学 小谷 泰宏  
 富山 渡邊 康弘 田中 周紀  
 久手 岩谷 矢谷 美徳 岩崎 清  
 鳥井 小田 菅森 悦子 岩倉みき子  
 長久 楯屋 七ツ 那須野誉幸  
 静間 中島 明弘  
 大屋 小原 芳美 西村美智子  
 久利 西本 和夫  
 水上 植田 忍巧  
 大森 植田 元道久美子  
 温泉 大崎 正治 須田 道雄  
 仁摩 宮本 政美 細貝 恒夫  
 森山 有竹 敏宏 森山千恵子  
 山根 久保 政美  
 岩谷 加藤 啓介 宇谷 一稀  
 出雲市 岩谷 儀和  
 神奈川県 加藤 昭弘  
 愛知県 依野 京子  
 兵庫県 吉野

## ○玉串料返し寄付

大田 石崎 彰矩

## ○一般寄付

長久 匿名

仁摩 宮本 正治

大田市役所 くにびき会

## ○食品・学生服等の寄贈

3名の方々、1団体より

寄贈をご協力いただきました。

以上、1,185,000円のご寄付をいただきました。また、古切手、プルタブ、ペットボトルのキャップも多数いただきました。

## 義援金へのご協力

### ありがとうございました

令和2年7月受付分(順不同)

## 寄付者一覧

※ご承諾をいただきました方のご芳名等を掲載させていただきます。

## 令和2年7月豪雨災害義援金

- ・大田町 萩 保子
  - ・真浄寺仏教女性会 こぶしの会
  - ・灯 大田
  - ・川合町 出岡・鶴ヶ城会
  - ・川合球友会リバーズ
- 本会にお寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通して被災地に送られます。

## 編集後記

例年より長い梅雨も終わり、酷暑の時期となりました。新型コロナウイルスの影響が続いている中、先月は集中豪雨により九州地方を中心として広範囲に被害をもたらしました。

近年毎年のように集中豪雨による被害が各地で発生していますが、今年も新型コロナウイルスの対応も合わせ、被災者支援に当たられている方々

## 心のたより発行事業



この事業は、大田市民生児童委員協議会との共催で、大田市内にお住まいの75歳以上のひとり暮らしの高齢者の方、ご夫婦とも80歳以上の高齢者夫婦のみの世帯に、暑中見舞いをお届けすることで、声かけ・見守り等の安否確認を行うことを目的に実施しています。今年度については内容を変更し、新型コロナウイルス流行に伴う地域活動等の長期自粛のお見舞いとして実施しました。

宛名書きは、担当地域の民生児童委員さんにご協力いただきました。ハガキを受け取られた方からは、さっそくお礼の電話やハガキをいただいております。

大変な苦労があることと感じています。このような状況の中、平穏な日常がどれだけ貴重な時間であるかを再認識させられます。

個人的に予定をしていた旅行など今年も難しい中ですが、このような状況でも遠方の友人や知人との繋がりは大事にしたいですね。この夏は、例年通りとはいきませんが、地元においてもできることを見つけて過ごしてみようと考えています。

(大)